

防災対策を問う

立憲・国民・ネット・無所属議員団

河合 りな



①内閣府が公表した「首都直下地震の被害想定と対策」は、都の被害想定を上回り、

ICTを活用した住民参加を推進せよ

①把握が難しいサイレントマジョリティの意見を拾うため、ICTを活用した意見聴取を検討しては。

②雨量が増加する前に、止水板設置補助を実施しては。

①都で分析を進める旨説明を受けており、防災の計画を直ちに直直す必要はない。

②分かりやすく伝わるよう工夫する。

①個別最適な学びを、体系的な学びと併せて実施する。

共同親権の対応を問う

安全を最優先とすることや潜在的DV等への対応と子どものケアに対する区の認識は。

DV等の問題があることが判明した際には、児童相談所等の関係機関と連携し、適切な対応を図っていく。

子どもへの権利条約制定以降、子どもの意見表明の機会が様々設けられてきた。

子どもへの意見の反映は、学校教育推進委員会への生徒参加や小学校改築時に児童の意見を計画に反映しては。

子どもへの意見の反映は、学校教育推進委員会への生徒参加や小学校改築時に児童の意見を計画に反映しては。

安心して子育てと就労を両立できる支援をせよ

公明党議員団 甲田 ゆり子



①都では、令和8年度から、障害児の放課後等デイサービスにおいて、長期休暇中における早朝午前10時までの時間帯を対象とした補助事業を予定している。

②女性の健康推進を先進的に進めるため、庁内横断で進める体制が必要では。

③健康経営優良法人の認定取得により、どのような効果を期待しているか。

④健康経営に関する積極的な情報発信を行うべきでは。

鷺宮地域のまちづくりに取り組む区の姿勢を問う

自由民主党議員団 武井 まさき



①鷺宮地域では、現在、様々な改修計画が進められている。

②旧鷺宮小学校跡地について、区は、どのような整備スケジュールを想定しているか。

①関係部署との連携の強化に加え、積極的に地域住民との意見交換の場を設けながら、施策内容を具体化していく。

②令和8年度から令和9年度に区民を交えて活用検討を行い、整備する区有施設や床面積、配置レイアウト等に係る方針を決定し、令和9年度中に基本構想を作成、基本計画等を順次策定し、令和13年度に解体工事・建設工事に着手する予定である。

次世代へツケを回す

無責任な計画を改めよ

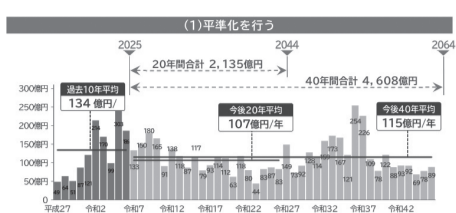
自由民主党議員団 加藤 たくま



①区は築60年で区有施設を建替える方針を変更し、築80年の長寿命化を軸とした「標準化」を行うことで、直近20年間の財政負担軽減を図る。

②将来世代の負担が過大にならないよう、次期区有施設整備計画策定後も区有施設の見直しや再編に係る検討を進めていく。

③将来にわたる不足が無いよう基金の積み立てを行うとともに、起債の活用も含め持続可能な財政運営に努める。



施設更新経費の試算結果 (中野区区有施設整備計画 (案))

未来へツケを回すものである。人口の減少で税収が減る時代に、あえて支出を後ろ倒しにする判断は極めて無責任である。子育て先進区を標榜しな

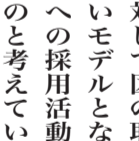
①将来世代の負担が過大にならないよう、次期区有施設整備計画策定後も区有施設の見直しや再編に係る検討を進めていく。

②将来にわたる不足が無いよう基金の積み立てを行うとともに、起債の活用も含め持続可能な財政運営に努める。

③将来にわたる不足が無いよう基金の積み立てを行うとともに、起債の活用も含め持続可能な財政運営に努める。

若者の「生きづらさ」を的確に捉えよ

立憲・国民・ネット・無所属議員団 いのつめ 正太



区として初めて実施する若者実態調査において、当事者でも言語化し難い「生きづらさ」に焦点を当て、当事者に代わって言語化・課題化できるように、調査項目などを工夫してはどうか。

①中野区で検討されている対象者の要件は、世帯年収600万円〜700万円ほどである。

②支援の在り方を検討していく。

③事業開始後、必要に応じて見直しを検討していく。

④デジタル人材育成の入り口という観点から、プログラミング教育の必要性を強く感じている。一人一台貸与して

区議会各会派のEメールアドレス

立憲・国民・ネット・無所属議員団	rikkenakano@gmail.com
自由民主党議員団	office@njp.gr.jp
公明党議員団	netnakano@gmail.com
日本共産党議員団	mail@jcpnakanoku.net
都民ファーストの会中野区議団	tomin1st.nakano@gmail.com

区民や企業に対して区の取り組みを示す良いモデルとなり、公務員志望者への採用活動にも寄与するものと考えている。

①区内全体で健康づくりに対する取り組みが推進されるよう、積極的な情報提供を行っていく。

①個別最適な学びと協働的な学びを、一体的に充実させる活用の在り方を検討する。

②国や都の方針等を踏まえつつ、客観的に評価可能な成果指標の設定を検討する予定である。

①関係部署との連携の強化に加え、積極的に地域住民との意見交換の場を設けながら、施策内容を具体化していく。

②令和8年度から令和9年度に区民を交えて活用検討を行い、整備する区有施設や床面積、配置レイアウト等に係る方針を決定し、令和9年度中に基本構想を作成、基本計画等を順次策定し、令和13年度に解体工事・建設工事に着手する予定である。

③事業開始後、必要に応じて見直しを検討していく。

④デジタル人材育成の入り口という観点から、プログラミング教育の必要性を強く感じている。一人一台貸与して

中野区議会では、ペーパーレス化等の推進のため、デジタル機器を活用しています。